

◎デジタル絵本になったマヤ神話「ポ波尔・ヴ」(日本語版)

ーグアテマラ無形文化遺産であるマヤ神話を楽しんでみては如何？ー

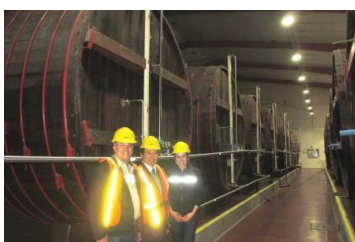
令和元年 11 月 3 日

川原 英一 (住高 2 1 期)

前駐グアテマラ大使、外務省参与

私が 2016 年末迄の 3 年余り勤務していた中米グアテマラには、マヤ先住民といわれる人々が全人口(17百万人)の 4 割程度を占めており、22のマヤ言語を話しています。スペインが中米地域を征服する前から住んでいて、その祖先は、1 万年以上前に、遠くアジアからベーリング海をわたり、アメリカ大陸を南下して移り住んだとの説が有力です。マヤ先住民には、日本人と同じく、身体に蒙古斑が残っています。また、お風呂の入りが日本人と同じように、身体を洗ってから、湯船に入る習慣があるとマヤ研究者から聞きました。

16 世紀半ば、スペインによってグアテマラを含む中米地域全域が征服され、宣教師が異教徒の書物を焚書したため、スペイン統治前の土着信仰などの古い文書がほとんどなくなりました。幸うじて『[ポ波尔・ヴ](#)』(Popol Vuh)と呼ばれ、キチェ族の間では、長く伝承されたマヤ神話が現在まで伝わっています。文字に書き留められたのは 16世紀頃と言われていますが、紀元前から、口頭伝承で綿々として、受け継がれてきていました。キチェ語で民衆の書(Book of the People)とも呼ばれます。大地創造からはじまり、生物の創造、そして神を敬う人の誕生、月と太陽になった双子の英雄の話まで、マヤの宇宙観を示す貴重な神話です。その内容は、日本の古事記やモーゼの十戒の映画を想起させるような大地創造の話から始まっています。



このデジタル絵本制作プロジェクトを進めた吉岡さんは、米テキサス大学オースティン校卒業生ですが、同大学の研修プログラムでグアテマラを訪問したのが御縁で、その後、現在までグアテマラに住んでいます。日本語を含め、ナレーションをしている若者達は、グアテマラ首都から西方に車で 4 時間程、山岳地帯を走ったところにある同国第二の都市ケツアルテナンゴに住む学生達です。

○因みにケツアルテナンゴ市の高度は 2 千メートルを超えて、雲海の上にあり、世界最高峰のラム酒である「サカパ」(次頁・末尾写真)の巨大な熟成倉庫があることでも知られています。夥しい数の大型倉庫群があり、大型酒樽で 20 年余り寝かされております(左上写真)。日本の大手商社が買い付けて、現在は、日本の一部百貨店やネットでの購入が出来ます。ミシエランの三ツ星レストランであるジョエル・ロブション東京店のバー・カウンターにも置かれていました。

さて、神話のナレーションは、キチェ語、スペイン語、日本語と3言語で制作されています。ここでは、日本語とスペイン語の動画サイトを御紹介します。デジタル絵本の形にマヤ神話を制作した日本人とグアテマラの青年達のおかげで、Youtube で手軽に楽しめます。是非、ご覧下さい。

1. はじめに :

https://www.youtube.com/watch?v=VosbXGUi6Cg&list=PLPK3k5gdSoTLFk_HaEAjcy19Ku-qrrHj9&index=1

2. ポポロヴフ 1 大地創造 :

https://www.youtube.com/watch?v=psd9j8Ix0aw&list=PLPK3k5gdSoTLFk_HaEAjcy19Ku-qrrHj9&index=2

Spanish: Chapter 1

https://www.youtube.com/watch?v=43yW7K_Dbs0&list=PLPK3k5gdSoTKEjDfmOU7XvEGXvapRJIM&index=2

